

「アートかデザインか」についての考察

石 野 眞*

Makoto ISHINO
A study on "Art or Design"

絵画展の中にデザインのような絵があり、デザインの中に絵画的傾向が見られるというアートのデザイン化とデザインのアート化の現況の中にあつて、アートとデザインを区切るものは何だろうか。

ここでは「アートかデザインか」についてデザインの立場から考察してみたい。

伝達の意味を含むか、含まないかはべつとして形や色で気持ちを表すこと、すなわち人間の美的な個の表現が個の表現として美的なるものとして、古来人類史の中で常に優位にあつた。

デザインの制作に先立ってデザイナーは、視覚的な美に関する、美術的な表現について、自由な立場で自分を徹底的に鍛練しなければならない。その豊富な作品群の中からデザインが誕生する。

『アートとデザインの相違は、デザインの場合には、課題が外部から即ちクライアントによって提起される点にある、とアーティストは見ている。アーティストがアートの仕事にあたる場合には、課題そのものに立ち向かっているわけである。アーティストは、自己表現というテーマを超えて、社会を形成してゆくような様々な事により以上に取り組んでいかねばならない。

グラフィック・デザイナーは、視覚的な美に関する、美術的な面の表現については、自由な立場で自分を鍛練することによって、それを強化しなければならない。アートとデザインの障壁は、このようにすれば取り除かれることができると思う。

我々が共感的な関心と呼んでいる美学的関心が情報の中に加わってくると、その情報はずっと印象的になってくる。二流には甘んじたくないと思うグラフィック・デザイナーは、ちょうどスポーツマンが特別なパフォーマンスを演じられるようになるのと同じ様に、自由な立場

において、自分を徹底的に鍛練しなければならない。』

——「アートかデザインか」アントン・シュタンコウスキー Anton Stankowsky——1987年7月、アイデア誌207, P. 28: 3/1983, 誠文堂新光社。

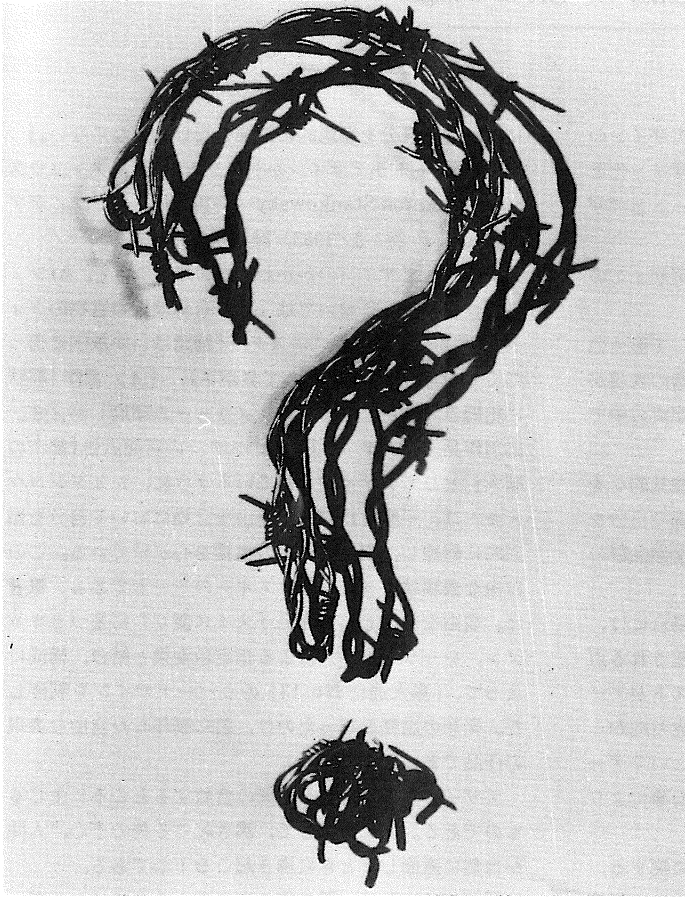
アートとデザインのかかわり、制作について、A・シュタンコウスキーにおいては「1. 有棘鉄線障害物のフォト」が「2. 応用作品/ポスター「捕虜はいつ故国に帰ってくるのだろうか?」として表現され、「4. 習作『網状に組編み、結合する習作』リノリウム印刷」が「3. 応用作品/ポスター IBM ポスターの新聞広告『都市の拡大』」としてデザインされているように、シュタンコウスキーは、平素、日常的に自由な立場において自分を徹底的に鍛練し、制作と表現の集積を心がけている。この自由な表現はシュタンコウスキーのアートである。筆者は、自由な表現として作品「スイス便り」に基づきキャンノン、レーザーコピーによる指定色変換と結合、構成によって、「島大通信 No. 13」のカバーデザインを制作した。発想の出発となったのは、前に制作した自由な表現の作品であった。

デザインとは、自然と人間の合致するところに生じるものである。美に直面して、沸き起こる美の下心、人間が自然に直面したときに沸き起こる下心である。

「デザインとは、橋の作り方を考えるのではなくて、川の渡り方を考えるべきである」とはフィリップス社のデザイン精神で、デザインの中で大切なのは、技術ではなくて自由な、豊富な発想である。

東京芸術大学三好二郎教授は、「アートの精神があるのがアート、デザインの心があるのがデザインである」と述べているように、美の精神が美をつくる。デザインの精神の中にアートの心が大切である。制作は自由な発想にもとづく豊かな展開である。

* 島根大学教育学部美術研究室

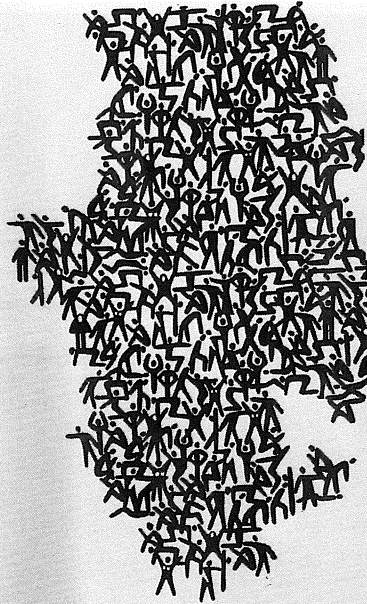


2

アントン・シュタンコウスキー
Anton Stankowsky

1. 習作：有刺鉄線障害物のフォト。1949年
 2. 応用作品：ポスター“捕虜はいつ故国に帰ってくるのだろうか？”。1949年
1. Study: Photo of barbed wire obstacle. 1949
 2. Applied work: Poster "When will the prisoners of war come back home?" 1949

1



Täglich eine neue Großstadt

Tag für Tag vermehrt sich bei der gegenwärtigen Zuwachsrate die Erdbevölkerung um mehr als 120.000 Menschen. Diese Entwicklung bringt gewaltige Möglichkeiten, sie wirft aber auch gewaltige Probleme auf. Die elementaren Bedürfnisse der neuen Erdbürger müssen befriedigt werden, während die natürlichen Nahrungs-, Energie- und Rohstoffquellen beschränkt sind. Durch verlängerte Arbeitszeiten und eine erhöhte Lebenserwartung wird ein immer kleinerer Prozentsatz der Bevölkerung aktiv im Produktionsprozess stehen. Und auch heute noch lebt ein großer Teil der Menschheit in Armut, Not und Unsicherheit, während wir für alle den Lebensstandard erhöhen wollen.

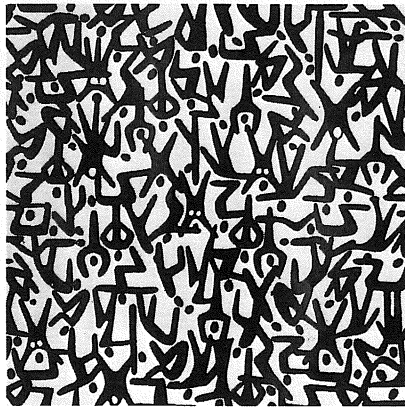
Die Lösung liegt in einer schnellen Steigerung der Produktivität durch die Verwendung modernster technischer Mittel. In Wirtschaft, Wissenschaft und Verwaltung nehmen elektronische Rechenanlagen eine Schlüsselposition bei der Bewältigung der Aufgaben von heute und morgen ein.

Die IBM stellt diese Maschinen in Deutschland sorgfältig her und bietet Ihnen die Wahl zwischen Kauf, Miet- und der Benützung des elektronischen IBM Rechenzentrums. Zur erfolgreichen Bewältigung Ihrer Probleme stehen modernste IBM Geräte und erfahrene IBM Spezialisten ständig zu Ihrer Verfügung.

IBM ELEKTRONISCHE RECHENANLAGEN

IBM Deutschland Internationale Büro-Maschinen Gesellschaft mbH, Sendlingerhof bei Stuttgart (Gesellschaftsteile in allen größeren Städten)

3



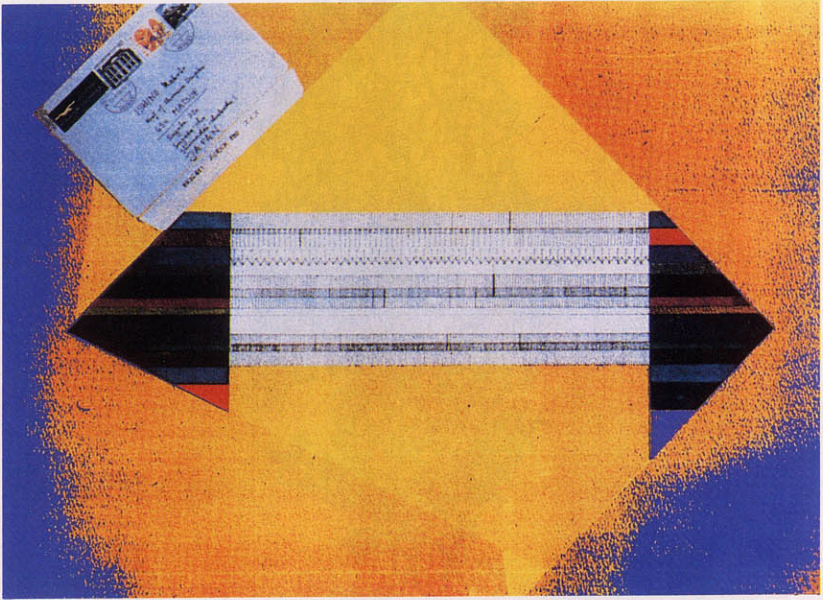
4

3. 応用作品：IBM コンピューターの新聞広告。“都市の拡大”

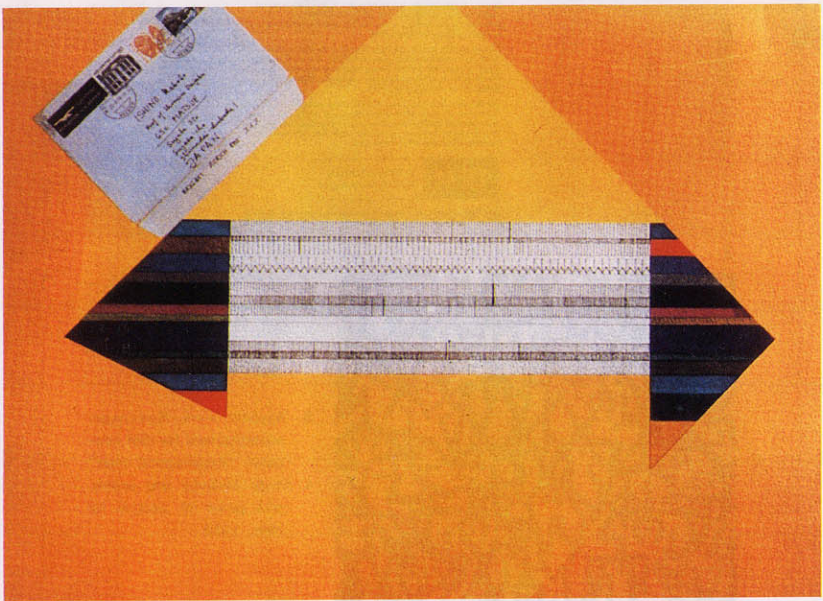
4. 習作：人間のジェスチャーの意味と表現力。1956年

3. Applied work: Newspaper advertisement for IBM computer. "Expansion of cities"

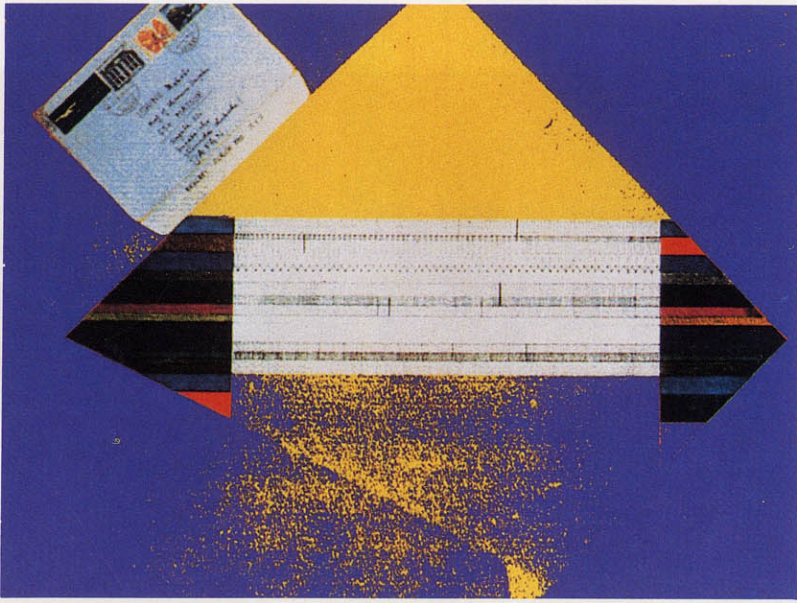
4. Study: Meaning and expressive power of gesture by men. 1956



5



6



7



8

